

令和4年度 課の運営方針書

鹿野総合支所 地域政策課

1 課の運営方針

【課の使命】

過疎高齢化が著しく進む鹿野地域において、持続可能な地域づくりのため、コミュニティ活動の推進や移住定住対策により集落機能の維持発展に努めます。
コアプラザかのにおいては、医療、保健、福祉などの複合施設として適切な維持管理を行うとともに、地域活動の拠点施設として、関係団体と連携を図りながら、地域づくりを推進します。

【課の目標】

- ①鹿野総合支所新庁舎建設に向けて、新庁舎実施設計と移転先の旧鹿野公民館の解体及び用地造成工事を行います。
- ②「鹿野地域観光振興プラン」を具現化するため、若者を中心とした新たな組織を立ち上げます。
- ③鹿野地域観光拠点整備に向けて、特産品開発等を行います。
- ④青少年育成市民会議と連携し、子どもの教育を学校、家庭、地域の三者で行える体制を強化します。
- ⑤コアプラザかのを地域活動の拠点施設として位置づけ、関係団体と連携を図りながら地域づくりを推進します。

【行財政改革への取組み】

- 総合支所を構成する各課が連携し、業務を共有することで個人への負担を軽減します。
- 土日・祝日の業務については、特定の職員に偏らないように職員全員で分担します。
- 全ての業務を職員全員で連携・情報共有を図ることで、積極的に時間外の削減や休暇の取得に取り組みます。

2 担当(係)の使命(果たす役割)

(地域政策担当)
持続可能な地域づくりの取り組みを住民とともに積極的に推進します。
(コアプラザかの担当)
コアプラザかのについては、地域活動の拠点として位置づけ、住民活動を支援し利用率の向上に努めます。

3 課の経営資源

(1) 課の体制

職員数	7人	うち	正職員	6人	・	会計年度 任用職員	1人	人件費	正職員	42,930千円	会計年度 任用職員	1,395千円
-----	----	----	-----	----	---	--------------	----	-----	-----	----------	--------------	---------

※R2職員平均給与(7,155 千円)ベース

※予算計上額

(2) 事業規模

歳入予算額	104,166千円	歳出予算額	242,939千円	(正職員人件費を除く)	担当予算事業数	6事業
-------	-----------	-------	-----------	-------------	---------	-----

4 課の中期目標（優先順）第2次周南市まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果（最終目標）
1	9 都市経営 3 効率的かつ効果的な行政マネジメントの推進 5 公共施設等のマネジメントの推進	鹿野総合支所新庁舎建設に向けて、新庁舎の実施設計と移転先の旧鹿野公民館の解体及び用地造成工事を行います。
2	6 産業・観光 5 観光交流の推進 1 ニューツーリズムの推進	策定された「鹿野地域観光振興プラン」を具現化するため、若者を中心とした新たな組織を立ち上げます。
3	6 産業・観光 5 観光交流の推進 1 ニューツーリズムの推進	鹿野地域観光拠点整備に向けて、土産品や料理メニューの開発等を行います。
4	1 教育・子育て 2 子どもの健全育成 1 学校・家庭・地域の連携強化	次代を担う子どもの教育を学校、家庭、地域の三者で行える体制を青少年育成市民会議と連携し強化します。
5	3 地域づくり 1 コミュニティの活性化 4 地域づくり推進体制の強化	コアプラザかのを地域活動の拠点施設として位置づけ、「明るく元気な鹿野をつくる会」など関係団体と連携を図りながら、地域づくりを推進します。
6	4 安心安全 1 災害に強いまちづくりの推進 1 地域防災力の強化	地域防災力を高めるため、地域住民による自主防災組織の活動を充実、強化します。
7	2 生涯学習・人権 4 人権尊重社会の実現 1 人権教育・人権啓発の推進	地域の人権推進協議会と連携し、人権教育講座の開催や学校、企業を通じた人権啓発活動を行います。